

## EA354DD-43 シリコン製耐溶剤手袋

材質...表:シリコーン 裏:ポリエステル100%  
全長...約33cm  
厚み...約1.15mm(裏地を含む)  
重量...一雙 約240g  
サイズ...L

化繊の裏地をつけた物質的強度向上タイプ

特長... 耐溶剤性...特定溶剤に対して膨潤が小さく、使用中に樹脂が溶けたり、使用後に硬化したりしません。

撥水性...水をはじくのでひとふきで汚れを落とせます。

難燃性...炎が燃え移りにくい性質があります。

生理的不活性...活性がないので、触れたものもシリコーン自体も変化変質しません。

柔軟性...とても柔らかく、皮膜自体の伸び率は500%以上。

### (面積膨潤倍率表)

面積膨潤倍率：表面を形成している樹脂の皮膜を溶剤の中に30分間浸漬したときの表面積の比率を表しています。

### 使用可能範囲の目安

膨潤倍率：1.3以下

単位：倍 (浸漬前「1.0倍」)

溶剤名	膨潤倍率
メタノール	1.0
イソプロピルアルコール(IPA)	1.2
アセトン	1.2
シクロヘキサノン(アノン)	1.2
メチルセロソルブ	1.1
エチルセロソルブ	1.0
アセトニトリル	1.0
ニトロベンゼン	1.0
ジメチルホルムアミド(DMF)	1.0
N-メチルピロリドン(NMP)	1.0

### \*\*注意\*\*

上表以外の溶剤を使用する場合には、必ず各使用現場にて使用する溶剤に対するテストを行い安全を確認して下さい。

同一溶剤であっても手袋の使用法・時間等の状況の相違により、耐久度は変化しますので、一応の目安にして下さい。

膨潤した場合は、手袋の使用を中止してもとの大きさに戻ってから再使用して下さい。その場合、品質の低下はほとんどありません。

### 用途

耐溶剤用...半導体工場・バイオテクノロジー・ドライボックス・薬品製造・部品洗浄等

ご使用の際は下記の事項を必ずお守り下さい

### 危険

引火物を扱った後は手袋を火気に近づけないで下さい。着火する危険があります。

この手袋は静電気対応用ではありませんので静電気による事故が発生する

恐れがある場合は使用しないで。

電気作業には使用しないで下さい。感電する危険があります。

## 警告

シリコーンは裂けやすく強度がありませんので注意して下さい。  
とがった物や刃物などで、手袋にキズをつけないように注意して下さい。キズができると液体が滲入したりして危険です。  
0 ~ 40 の範囲内で使用して下さい。  
酸・アルカリに使用しないで下さい。  
ガス状での透過は防止できません。(特に発がん性物質や刺激のある有機溶剤には必要です。)  
扱った液体が付着した手袋で、人体や他の器物に触れると危険です。  
使用後の手袋は溶剤などを吸い込んでいます。そのまま室内に放置すると手袋から蒸発したガスが充満している充満する可能性があります。よく乾燥させてから保管して下さい。

## 注意

ご使用前には必ず、手袋にキズ・ピンホール・破れなどが無いことをよく確かめてから作業して下さい。  
液体が付着すると滑りやすくなりますので注意して下さい。  
油・有機溶剤・化学薬品などを扱う際は、手にキズのある人は使用しないで下さい。  
使用中に赤み・はれ・かゆみ・刺激などの異常が現れた時は、ただちに使用をやめて下さい。  
皮膚科専門医へのご相談をおすすめします。  
手袋が塗装面に触れると、塗料によってはハジキを発生させることがあります。  
ご使用の際には十分注意し確かめてから使用して下さい。

## 保管方法

使用後は汚れや付着した液体をよく落として陰干ししてください。手袋を長時間日なたに放置すると劣化が促進されます。  
保存する場合は十分に乾燥させて直射日光を避けた風通しの良い所で保管して下さい。(警告 を参照して下さい)

